別紙様式１　学校評議員による会議実施報告書

ホームページへの掲載	
済	月　　日　掲載予定

岐阜県立岐阜農林高等学校

学 校 長　林　　　博　康
学校住所　本巣郡北方町北方１５０番地　　電話 058-324-1145

１ 会議の名称　岐阜県立岐阜農林高等学校　学校評議員による会議　（第２回）

２ 会議の構成　委　員

委　員	神　谷　　　肇	元育友会会長
	神　谷　令　子	民生委員
	寺　島　尚　江	自営業
	北　野　憲　弘	岐阜大学応用生物科学部講師
	柴　田　武　浩	北方町農業委員長
	寺　島　尚　江	自営業
		（委員名は五十音順）
学校側	林　　　博　康	校長
	渡　邉　千　洋	教頭
	髙　橋　秀　樹	教頭
	今　井　信　夫	事務部長
	谷　　　　　基	教務主任
	大　矢　英　樹	進路指導主事
	三　輪　嘉　文	生徒指導主事
	小　川　正　樹	農場長

３ 会議の目的　　学校運営等について、地域住民等から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て開かれた学校づくりを推進する。

４ 会議の開催　　平成 28 年１月 14 日（木）　岐阜農林高等学校会議室　13:50～15:40
委員５人と学校側８人が出席

(1)生徒代表（１６名）との懇談　　13:50～14:40
ア 生徒代表（生徒会後期執行部　９名）
イ 学科代表（７名）

(2)学校評議委員による会議・学校関係者評価委員会　　14:40～15:40
ア 学校長挨拶・本校教育活動の紹介…学校長より
イ 本年度の活動報告　　…各分掌長より
ウ 意見交換　　…各委員、学校側より

(3)まとめ

テーマ　　「第２回学校評議員による会議」「学校関係者評価委員会」

前半＜生徒代表＞

○　生徒会会長による発表について

・今年度の生徒会のコンセプトは「まず先に自分たちが行動する」。「岐農祭」での取組を中心に発表を行った。

○　学校評議員の皆さんからのご感想とアドバイスについて（以下は、その主な点である）

・今年度から「岐農祭」が毎年開催になる。準備や当日の取組は、大変であるが、しっかり取り組んでほしい。

・育友会と生徒会が早い段階でコンセプトを共有して、岐農祭に取り組んでいけたら良いと思う。

・カッパ着用による自転車通学やしっかりした挨拶ができる点など地域の方から高い評価を得ている。

・岐農祭などの行事で取り組んできたことは、長い年月が経っても忘れないことである。大切にしてほしい。

後半＜学校関係者評価委員会＞

○　学校長挨拶

・本校１年生の生徒が登校中に川に落ちた中学生を助けた善行を紹介。

・新聞の記事（「マクワウリ列車の運行」「マンゴー栽培」「酪農を守る」）について紹介。

・様々な場所で活躍する若者たちを支える年長者の役割を考えていかなければならない点を強調。

（上記の新聞記事「酪農を守る」を踏まえて）

○　各分掌部長（教務主任、進路指導主事、生徒指導主）の説明

・資料「平成 27 年度　自己評価・学校関係者評価　報告書」をもとに説明。

◎　ご意見やご指導について

・ＳＳＨ事業の継続と同時に進路指導の取組をお願いしたい。

・社会人としてのマナー向上に向けて普段の学校生活の充実が大切になる。

・部活動の躍進のために環境面（部室の新設等）の向上を目指す働きかけの必要性や既存施設の更なる有効利用の方策をお願いしたい。

・不登校生徒ゼロ、遠距離から通学する生徒がいる点を高く評価したい。

◎　質疑応答（Ｑ＆Ａ）について

Ｑ：富有柿の栽培と出荷について

Ａ：栽培をやめる方向ではない。今年度は地域住民からの要望が多く校内での販売で十分であり選果場に出すことに至らなかった。

Ｑ：富有柿を無核化（種なし）することについて

Ａ：生徒たちが消費者の声を拾い、消費拡大に向けての研究として取り組んでいる。

Ｑ：岐阜農林高校の（本来の）姿について

Ａ：高校３年間学習する中で、もっと勉強がしたいという向学心が高まり進学を希望している。結果的に進学者が多くなっている。決して進学を積極的に勧めているのではない。
あくまでも職業人を育てるのが専門高校の使命と考えている。最近は、景気も良くなり魅力のある企業からの求人も多い。

◎　まとめ（学校長より）

・委員の方からの貴重なご意見ありがとうございました。学校での取組を実現する上での後押しとなると考えています。各方面にお伝えさせていただきたいと考えています。本日はありがとうございました。